

オハイオ州立大学訪問記

スポーツライフスタイルマネジメント系

向山 貴仁

2004年2月末から約2週間、米国のオハイオ州立大学を訪問する機会を得た。研究テーマは「米国の体育教員養成システムに関する資料収集」であった。

受入研究機関である The Ohio State University は米国でも屈指の規模と教育レベルを誇り、論文引用数もトップレベルにあり高い評価を得ている。近年では「2002年度から2004年度にかけての教育改革」「数年間にわたる教育実習や模擬授業などの実践的な体育教員養成システム」「1994年に Dr. Siedentop が提唱した Sports Education Model 理論」等の実践的な取り組みが行われている。

今回の海外派遣期間中の研究、国際交流、視察の成果は以下のとおりと考えている。

教育学部 Associate Dean の Dr. O' Sullivan との意見交換により、オハイオ州立大学の概要や、現在すすめられている体育教員養成システムの現状について情報収集ができた。

Dr. Ward とは、体育科教育に関する意見交換並びに共同研究プランの検討を行うことができ、今後の研究活動の方向性への示唆が得られた。また、コロンバス市内の中学校における体育授業ビデオの贈呈を受け授業資料の充実が図られた。

Dr. Hodge の担当する学部生、大学院修士課程を対象とした講義・実習形式の授業に参加することができ、指導法に対する理解が得られた。また、実習形式の授業ビデオの贈呈を受け授業資料の充実が図られた。

上記以外にも「オハイオ州立大学と地域の体育教師との Collaborative Learning への参加」「大学院博士課程の研究プロジェクトのセミナー（研究の中間発表）への参加」「大学内の体育施設・研究施設の見学及び資料収集」「教育実習関連資料（単元計画）、大学院生の研究プロジェクト資料の

収集」「トルコからの交換教授 Dr. Levet との情報交換」等、今回のオハイオ州立大学の訪問により、同大学の体育教員養成システムと授業の実際や、研究の現状について研修を深めることができ、今後の教育・研究・運営に対する大きな成果が挙げられた。収集された資料は今後の授業において学生に提示し活用を図る予定である。

最後に、海外派遣の機会を与えて頂き感謝の意を表したい。

